



みなと

みなと 60号

2020年4月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990

代表者 足利教治

編集者 神坂順子



2020年2月2日(日) 運営委員会にて

新年度を迎えるにあたって…

この度のコロナ対応につきまして、皆様方にはいろいろとご迷惑をお掛け致し、まことに申し訳ありませんでした。又、急な本部方針決定にも関わらず団員の皆様には整然と対応して頂き本当に感謝しております。

伝統ある声奉56年の歩みの重さをひしひしと感じています。その中で「声のアルバム休刊」という、一ページを刻むということは、痛恨の極みであります。しかし、これも運命のなせる業と真摯に受け止め、来るべき再開の日に備えたいと思います。再開のあかつきには、既に録音済み、また準備中の作品が生かされるよう、関係する皆様で相談して頂き、心の籠った「声のアルバム」が出来上がるよう願っています。まだまだコロナ状勢も予断が許されませんが、団員の皆様、ご家族の皆様には災いの無きよう、また全世界のコロナ騒動が収束し、安心して皆様と一緒に声奉の活動が出来る日を待ち望んでいます。

兵庫県声の図書赤十字奉仕団 委員長 足利教治

デイジー班



日赤声のアルバムを利用者の方にお届けするようになってはや12年が経過しました。時代の流れはとどまることなく、パソコンで直録音を始めた頃はWindowsXPを使っていましたが、その後Windows7、Windows10と変わり、WindowsXPばかりではなく、Windows7も、サポートが終了となりました。パソコンも日々より早く、より便利にと変化しています。

日赤声の図書奉仕団発行の声のアルバムは毎月7～9冊の図書を一枚のCDに収めて利用者の方にお送りしています。

マザーCD作成の仕事は月初めの第1月曜日に、原則前月末までに提出されている図書のUSBメモリをマザー作成専用のWindows10のパソコンで、その月の「日赤声のアルバム」フォルダーに取り込み、見出し、音量、書誌情報など必要なチェックを行います。第2月曜日又は第3月曜日に残りの図書を「声のアルバム」フォルダーに取り込み、必要なチェックを行った後、DIメーカーで各図書を独立して聴けるようにしたものを、一纏めにしてCDに書き込む仕事を行います。

さらに書き込まれたものが日赤声のアルバムとして出来上がっているかを確認して、コピー作業に送ります。

コピー作業は、先月のものを消去して当月必要枚数をコピーします。そのあと一枚ずつ、モニターチェックしたのちに**発送作業**へとおくり、利用者のもとに届けることとなります。

さらにまた、利用者がお聴きになるプレクストークにしても最新のPTR3、PTN3といったように変化し、より便利に使えるようにと工夫され、改良されてゆきますが、その都度提供する音声によりよく聞けるように工夫・調整して変化に対応しなければなりません。日赤声のアルバムは、こうして日赤声の図書赤十字奉仕団の総力で発送しています。

ところがこの春は、新型コロナウイルスの蔓延が人々を脅かしています。地球上どこにいても同じように出来事が伝わり、より便利にと人々の求めるその先に何かあるのかとふとってしまう昨今です。それでも、私たちの生きるこの世界が、地球上の人々をつなぎウイルスに負けず元気に生き続けてほしいものです。

神戸YWCAグループ 片山恵



点字班

2019年度の学校講習は4校でした。どの学校も真剣に取り組んで頂き、点字を打つ・さわる体験は目に障害のある人々に思いをはせる思いやりも育みます。神戸市立八多（はた）中学校は全校生47人で点字とガイドヘルプの学習をしました。感想が届いていますので一部紹介いたします。

3年生

- ・点字を初めて打ってみて文字の仕組みや、基本をしっかり学ぶことができました。最初は間違ってしまうことが多かったですが、自分で考えて打つのは楽しかった。
- ・点字のルールを初めて知り勉強になりました。打つのは楽しかったけれど1つでも間違えると伝わらないので少し難しかった。
- ・点字の読み方が分からず、いつもどういうふうに読むのかなと悩んでいたの、今回読み方・打ち方の規則性などを教えて頂き、これからはもっと読むことにチャレンジしたい。
- ・指先でなぞってみても「点がある」ことしか分からないので、読める人はすごいと尊敬した

2年生

- ・点字講習ではとても細かいなと思いました。僕が点字を作ったら全然思い通りにいかなかったです
- ・点字を一つ一つ打っていくのはとても時間がかかるし、難しかった。やっているうちに「できた」という実感がとても気持ちよかったです。種類も沢山あることなど楽しく学ぶことができました。
- ・点字講習は特に面白かったです。優しく丁寧にわかりやすく教えて頂いたの、とても良い経験になりました

1年生

- ・点字は難しくて紙が破れたりして、上手く出来なかった所もあったけど、最後は表を見ながら長文を書けて嬉しかったです。

どれも私たちの活動の励みになる嬉しい感想でした

門田真弓美（ことばの花束）

団員向け点字講習会のお知らせ

6月9日(火) 13時～15時

点字を書く体験をしてみませんか。

またマイペースで楽しく作業をしている

点字班の活動も知っていただきたいと

思います。お待ちしております。

朗読・音訳を見直す会

見直す会主催の勉強会が去る1月15日と2月19日の2日間開催されました。参加者9名に見直す会のメンバー6名が加わり、各組5名ずつ3組に分け、ワークショップ形式で行われました。テキストは、高田 郁著「八朔の雪・みをつくし料理帖」より“夜半の梅一ほっこり酒粕汁”の終盤部分です。テキストは初回に渡され、各組毎にどのような読み方をするのか話し合い練習し、2月の勉強会で出席者に披露されました。

・1組は、地の文と科白の読み方を学ぶことを目標に、全体を四つに分けリレー式に読みつなぐ方法。

・2組3組は、朗読劇風に登場人物と地の文の役割を決めて読む、その際イメージに近い人に役をあてる。

練習時間が充分とれない中、作品のイメージ作りに工夫が感じられ楽しい勉強会になりました。終了後のアンケートには「人物の関係性や年齢を考慮して読むようにした」とあり、苦労のあとを感じました。また、「他の組の読みを聞いて参考になった」「色々発見があった」等と記されていました。

講師から：

- ・もう少し話し合いを深め、物語としての一貫性が欲しかった。
- ・下読みを重ね、行間に潜む作者の微妙な息遣いを感じ取って、内から生まれる間を讀みに生かすことが大切。
- ・聞き手に登場人物や情景がイメージできるように。

「ことばの探偵局」



※形容詞のアクセント

形容詞約300語の内、平板型の形容詞は30語だけですから例外的と言えるでしょう。特に3拍語（17語）のアクセント間違いが、校正者からの指摘も多いので覚え込んでしまいましょう。

赤い、浅い、厚い、甘い、荒い、薄い、遅い、重い、軽い、固い、キツイ、暗い、煙い、辛い、遠い、眠い、丸い

以上は、連用形に活用した時も平板です。

同じ3拍語でも起伏型の、白い シロイ が連用形に活用すると シロク と頭高に変化します。創元社「美しい日本語の発音」－アクセントと表現－に詳しく掲載されていますので参考にして下さい。

※校正者が気になるアクセント

次の2語のアクセントは中高ですが頭高になっていることが多い。

「対する」タイスル○ タイスル×

「関する」カンスル○ カンスル×

ともしびG 田辺依子

単行図書検討会

2019年度（2019年4月～2020年2月）に完成した単行図書は12冊です。2018年度に比べ少なくなっておりますが、一冊一冊にかけられた団員の皆さんの熱意とご努力に深く感謝申し上げます。

製作数が減少した理由の一つとして、読み手が少ないことが考えられますが、最近、今まで単行図書を読まれたことがない方たちが手を挙げてくださって、嬉しく思っております。この方たちが単行図書の録音は面白いと感じられ、単行図書の頼もしい読み手になってくださればと願っております。単行図書の魅力は何ととっても、長く、繰り返しリスナーに聴いていただけることではないでしょうか。本の録音を何となく尻込みされている方は、始めは短編集を数人で分担して読まれることをお勧めします。短編集を好まれるリスナーは案外多いのです。どうぞチャレンジしてみてください。

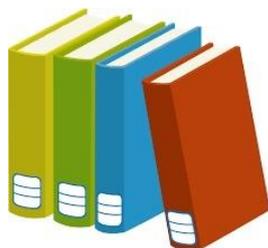
今年度の単行図書検討会の活動で一番心に残っているのは、リスナーからのリクエスト本であった、2018年度直木賞受賞作「宝島」の録音をお断りしたことです。当奉仕団の単行図書製作の方針として、リクエスト本を最優先に録音するようにしています。内容がマニアックで借り手が少ないと思われる場合はプライベート本として製作してきました。今回初めてお断りしたのは、何人かの方たちに録音の打診をしたところ、「宝島」全編に、かなり多くの沖縄の方言（ルビ付き）が使われていることで、皆さんが躊躇され、読み手が見つからなかったためでした。

このような方言の問題を解決するために、サピエ図書館では地元の点字図書館のメンバーが読んでいると聞いたことがありますが、当奉仕団では致し方のないことと思いい、録音を断念いたしました。調べてみますと、「宝島」はサピエ図書館ですでに製作されていましたので、リクエストされたリスナーには、その旨お伝えしました。今後同じような問題が起きた時、どうすれば良いか。なかなか答えの見つからない難しい課題です。

最近、様々な形態の本が出版されています。例えば、目次がない、目次の小見出しに頁数が記載されていない、空頁がある等々。そのため、階層分け、頁付け、録音図書凡例の文言等で悩まれることが多いと思います。たいていは録音者と校正者と相談して、個々に解決されているのが現状ですが、どう処理してよいか悩まれる時は、ご遠慮なく単行図書検討会にご相談ください。

今後とも、単行図書へのご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

こすもす 池内早苗



グループ紹介 「はあもにいグループ」

「はあもにい」は1970年「YWCA声の奉仕グループ」として発足し、2001年より名称を「はあもにい」と改めて活動しています。現在のメンバーは14名(足利委員長と13名の女性たち)です。

活動内容は

- ① 『雪』(神戸市消防局監修、生活あんしん・あんぜん情報誌)の音訳・編集 (毎月)
- ② 月刊『PHP』の担当箇所(あの日の流行り歌)の朗読・録音 (毎月)
- ③ 『花時計』の企画・編集・制作 (5か月に一度)
- ④ 「しゃぼん玉」リスナーさんとの対面朗読会 (毎月)
- ⑤ 単行本朗読、点訳作業、朗読勉強会、日赤事業への参加など随時

上記の活動を推進するために、毎月第4金曜日午後から例会を行っています。

個性豊かなメンバーが、自分のできる範囲でみんなと力を合わせて、少しでもお役に立てたらと活動しています。



誌名『雪』の由来

「消防章」と呼ばれる消防のマークは、太陽を中心に水管・管そう・筒先から放出する水柱を配した「雪の結晶」の形をしています。雪の結晶は、水・団結・純潔を意味し、消防士の性状を、水管・管そう・水柱は、消防の任務を遂行する機械と水を、太陽は、市民の皆さまをあたたく守りたいという、消防士の願いを表しています。

『雪』は、創刊当初は「神戸消防」という名前でしたが、昭和27年11月号から消防の象徴である『雪』に改名しました。

今回紹介文を担当した私は3年前に加入しました。「新人さん」と呼ばれています。朗読はなかなか上達せず、全員で行うPC操作も未熟で経験豊かなメンバーにいつも助けられています。「はあもにい」の温かさに支えられ励まされて活動しています。遅ればせながら徐々にこの活動の奥深さがわかってきたところです。

松岡真紀 (はあもにい)



リスナーだより



牧野まりえさん

「友情 最後の一年」も、楽しく心をうたれ、教えられた作品で感謝です。
古川直子さんの読み方も感激しました。

「あなたは誰かの大切な人」いろいろなことをこんな風にみればいいんだとか…楽しみながら聴いています。
声のアルバム 2月号も感想を書くつもりでしたが、そのまま返送してしまいました。無駄な記事は、私にはありません。

平本信義さん

三田市の平本信義です。
来年2月で92歳になります。
最近、点字を読むのが、もどかしくなりたいへん困っています。ゆっくりなら読めます。図書に希望はありませんが、探偵か、または事件を書いた小説、または、体験の図書があればお送りください。お願いします。

香山良樹さん

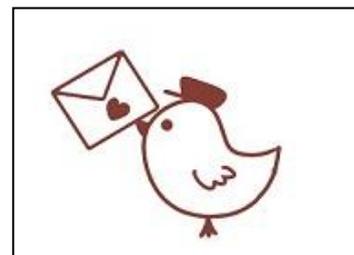
声のアルバム ありがとうございます。
あじさい 大切な情報 ありがとうございます。
世界の旅 マルタ島 聖書の中身 パウロたち一行が舟が遭難した時に、流れ流れてマルタ島に着いた時の記事があります。
PHP 人生のお話 勉強になりました。

達城あや子さん

いつもお世話になります。
こんな時期に音声読書。
おかげで”日常”の気分を楽しめます。
ありがとうございます。
皆さまも、お体、気をつけてください。

中原真理子さん

単行図書便り 楽しく毎月 聴かせていただいています。実はおすすめ本のひとつ「陸王」を聴かせていただきました。まさか テレビドラマになっているとは知りませんでした。マラソン足袋や、タクル会社の話ですごく長かったのですが、いろいろと周りから異論もあったようですが、ライバルの靴を作る会社とけんかしながらでしたが、マラソン足袋で走る選手のことを聴き、感動し泣いてしまい 陸王という靴の名前もかわっていてユニークで面白い名をつけたものだなと思います。こんな感動した小節はないなと思いました。今後とも 感動ものの小説を音訳していただきますように、どうぞよろしく願いいたします。



デージー受入&点字班の皆さま

リスナーからのおたよりの受入れ、点訳…ありがとうございます。
紙面の都合で、花時計等で紹介されているものは省いています。すべてのお便りをご紹介できなくて申し訳ありません。
点訳されたお手紙は、海側のホワイトボードに展示しています。
花時計で紹介されたお便りには、〇月号で紹介しましたと書いておいてください。

メーリングリストより

こんにちは。
ひょうごけん、
こうべしの、
かわかみゆうこです。
わがやの、
きんじょにも、
さくらが、
さいています。
かわむこうでは、
さくらが、
まんかいで、
いしだんに、
すわって、
はなみしながら、
おべんとうたべている
ひとたちを、
よく、みかけます。
ころなの、
えいきょうで、
かいものいがい、
そとに、
でられないため、
ストレスがたまり、
あたまが、
おかしくなりそうです。



こんにちは。伊丹の高瀬です。
暖かくなってきましたね。
こちら伊丹は、新型コロナウイルスで大変です。
ある施設を利用しているかたや、関係者が多数発症されています。
どこに患者がいるかわからないので、うかうか、外へ出られない状態になっています。皆さんも、他人事だと思わずに、注意をしてください。
ところで、桜情報です。伊丹の公園に飢えてもらった、「春めき」という匂い桜が満開になっていました。これは、ちょっと早咲きなので、他はもうちょっとの漢字です。
もう少しすると、桜も見ごろになりますが、人込みに出るのはちょっと遠慮して、各地の桜情報がありましたら、このMLで紹介してください。満開を頭に浮かべて楽しみましょう。

大阪の田辺です、本当に、間違いだらけで、脱字も多く、とても字読みづらいメールですみません、何とか判読していただけたら幸いです、とにかく、音楽を、聞くことが好きで、にいろっそや、101 ストリングスや、また、どうしようしようか、ほおくそんぐまで、いろいろですいろいろききすぎて、みみがわるくなると、こどもにしかられていますまたおはなしを、よければきいてください

こんにちは。前田絹子です。初めてメールさせていただきます。
私は伊丹の昆陽池公園直ぐそばに住んでいる前田です。
今、昆陽池の桜は満開の木が数本と数日後に開花しそうな 数十本有ります。 コロナウイルスで 視覚協の行事も全て中止なので公園の桜を見上げながら、のんびり主人と散歩しています。
皆さんは 如何お過ごしですか・・・
(このあと、「二頭の馬」のお話を送っていただきました)

声のお便り輪、聞かせてもらいましたよ、いつも内容が充実しているので、楽しみです、今回わ、雪の、こうなあが、お休みだったので、残念です、コロナの影響が、録音の、作業まで影響が、あったなんて、はあも二位の方も、大変で、残念だったと、とても残念だったと思います、いつ幼るのか、みなさんふわんでしょう、わたくしも、こうれいのせいもあって、ふわんが、ありあまりそとにわ、でませんみなさんどうぞ、きおつけて、おげんきでおすごしてください

花時計 プログラム

花時計 2019年12月号 こすもす

1. 「聖火ランナー」
2. 「おもしろかったといえる人生こそ」
3. 「ろくでなしのサンタ」 浅田次郎
4. 風邪をひいたときのメキシコの民間療法
5. 日本の七十二候を楽しむ「冬至」
6. 「かさじそう」
7. おたよりコーナー
8. 交流会のご報告

花時計 2020年 1月号

神戸YWCA

1. おみくじひきました
2. トルコ気まぐれ道中記
3. おせち改革派の躍進なるか
4. そこそこその他「楽老抄4」より
5. 最初か最後「グダグダの種」より
6. はなになりたい すまいるママ作

花時計 2020年 2月号

ことばの花束

1. おでかけは最高のリハビリ！
2. 梅の香りにさそわれて
3. 投げ忘れた花束
4. 干ばつの大地に命を捧げて
5. 神戸ビーフに合うワインを

花時計 2020年 3月号

はあもにい

1. ワクワドキドキどんな人に会えるかな
唱歌・童謡研究家 二宮清さん
2. 赤とんぼの里 たつのを訪ねて
3. サラリーマン川柳2020
4. Marcy のミュージックカフェ
♪卒業♪
5. お便り



編集後記

新型コロナウイルスの影響で、
次回の「みなと 61号」は、
6月には発行できませんが、
新しい編集の次号をお楽しみに
お待ちしております。